

3.地域の環境保全

国、地方自治体などの環境規制等を遵守することにとどまらず、事故等の緊急事態に備えて汚染の可能性を検討し、予防しています。

Highlight 2009

液体物質の漏洩を想定した対応訓練を実施

理想科学は、インクの原料や重油、接着剤などの液体物質を取り扱っています。事故や地震などが発生した際に、これらの漏洩・拡散を最小限にとどめるために液体物質の種類や関連設備に応じた対応訓練を行いました。



漏洩せき止め訓練

法規制遵守状況

法規制・法規類の遵守を継続

当社は、2009年度の法規制および法規類の監視・測定、遵守評価の結果、問題なく遵守していることを確認しています。行政機関から罰金や行政指導を受けていません。また、近隣からの環境に関わる苦情も受けていません。

しかしながら、当社製品の「リソースクリーンインク」容器の材質表記でPEとすべきところをPUR-EおよびPETとする誤記があり、お客様をはじめとした皆様にご迷惑をおかけしました。本件に関する経緯および対応状況について、当社Webサイト上*で公表するとともに、在庫製品については、正しい材質を記したシールを貼付したうえで出荷するなどの対応を実施しました。また、管理体制の見直しを図り、再発防止を図りました。

*詳細は当社Webサイトトップページの「製品に関する重要なお知らせ」に掲載しています。
<http://www.riso.co.jp/important/>

す。また、設備故障による規制値超過を防止するために、法に定められた測定項目以外にも、モーターやポンプの絶縁抵抗、電流量などを監視・測定し、設備の異常の早期発見・メンテナンスに努めています。



排水の定期測定

土壌汚染への対応

当社の生産事業所では、操業にあたって化学物質の管理、設備の点検を徹底し、土壌汚染の予防に努めています。

アスベストの使用

当社は、製品の製造・販売において一切アスベストを使用していないことを確認済みです。また、建物についても吹き付け塗装などにアスベストを使用していないか、建築業者とともに調査を実施し、セメントで固めたスレート板^{解説1}を除き、使用していないことを確認しています。

解説1 スレート板

スレート板は、アスベストの飛散がないと言われていますが、撤去や解体などを行う際には、アスベストの飛散防止処置を十分図ったうえで実施しています。

事故や緊急時に備えた訓練・教育

火災や地震を想定した総合防災訓練のほか、特定の緊急時を想定した訓練を実施

事業活動に伴う環境リスクとして、事故や地震による火災、設備損壊による油の流出や水質・土壌汚染などがあります。

こうしたリスクに備えるため、火災や地震を想定した総合防災訓練を事業所ごとに毎年実施しています。また、特定の工程や作業について、油の流出など緊急時を想定した緊急時対応訓練を実施しています。

訓練を通じて確認した課題や問題点は、緊急時の行動計画の見直し、備品の拡充、設備の改善などによって是正し、リスクの低減につなげています。また、これらの訓練を繰り返し実施することにより、事故や火災に対し、迅速かつ適切な対応ができるようにしています。



総合防災訓練

化学物質使用時の管理

適正・安全な取扱いを実践

当社が製造する製品およびその製造工程では、多種多様な化学物質が使用されています。

当社は化学物質の使用・管理にあたってMSDS^{解説2}を入手し、化学物質の有害性のほか、取扱い・保管・廃棄に関する留意

PRTR対象化学物質総使用量と排出量および移動量の合計の推移



集計範囲：筑波事業所、宇部事業所、霞ヶ浦事業所、開発技術センター
*環境側面調査の結果から年間取扱量が1kg以上の物質について排出量・移動量を集計しています。

解説2 MSDS (Material Safety Data Sheet)

事業者による化学物質の適切な管理を促進することを目的に、対象化学物質を含有する製品を譲渡または提供する際に提出するデータシートのこと。化学物質の性状および取扱いに関する情報が記載されています。

事項を認識したうえで適正に取り扱うとともに、さまざまな管理基準を設け、安全な使用・保管に努めています。

さらに、社員の安全はもとより、環境への影響も配慮した取扱いを徹底するため、化学物質の管理に関する手順書を作成し、取扱い・保管・管理に携わる社員への教育を実施しています。

PCBの処理

PCBを含有する変圧器やコンデンサーについてはPCB処理施設による受け入れが可能となった時点から順次処理を行う予定にしています。それまでは、保管庫の施錠、定期点検など厳重な管理を徹底しています。

PRTR対象化学物質への対応

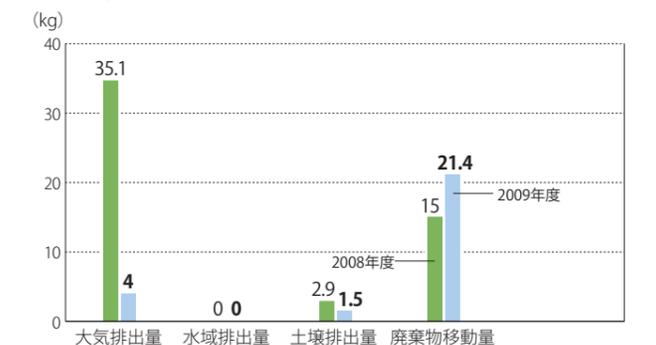
当社は、PRTR対象化学物質^{解説3}の排出量・移動量を調査しています。調査結果をもとに、代替物質への転換や排出抑制策を検討し、生産過程における指定化学物質の排出量および移動量低減に結びつけています。

2009年度のPRTR対象化学物質の総使用量は2.2tで、2008年度より0.1t減少しました。排出量と移動量の合計を比較すると、2008年度比で49%の減少となりました。製造工程での不良増加により廃棄物の移動量のみ2008年度比6.4kg増加しました。

今後も代替物質への切り替えなどを検討し、使用量の削減を図っていきます。

PRTR対象化学物質の排出および移動量の詳細な内訳は、当社Webサイトの「環境経営報告書」のデータ編として掲載しています。
<http://www.riso.co.jp/eco/report/>

PRTR対象化学物質排出量および移動量



集計範囲：筑波事業所、宇部事業所、霞ヶ浦事業所、開発技術センター
*環境側面調査の結果から年間取扱量が1kg以上の物質について排出量・移動量を集計しています。

解説3 PRTR対象化学物質

事業所から有害性のある多種多様な化学物質がどのくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを事業者が把握し、集計し、届出をするPRTR制度の対象となる化学物質のことを言います。